



平成28年9月16日

利府町議会議長 櫻井正人 殿

総務財務常任委員長 吉岡伸二郎



委員会調査中間報告書

本委員会で調査した事件について、利府町議会会議規則第43条の2第2項の規定により、別紙のとおり報告します。

総務財務常任委員会調査中間報告書

1 調査事件

デマンド交通について

2 調査目的

今後、急速に進む高齢化に備え、公共交通の中で利用者の利便性の高いデマンド交通（需要に応じて柔軟に運行する利用者主導型交通）の導入に向け、調査・研究することとした。

3 調査経過

平成28年3月 7日 調査項目の協議（会期中）
 4月28日 政策課からの聞き取り調査
 5月31日 視察調査：大河原町
 6月14日 先進地視察研修について（会期中）
 8月 2日 視察調査：茨城県石岡市
 8月 3日 視察調査：栃木県芳賀町
 9月 9日 委員会調査中間報告書最終確認（会期中）

4 調査状況

「現状」

公共交通として町内を走る路線バスは、町が運営する町民バスと、民間が運営するミヤコーバスがある。

- ・町民バスは、町の交通空白地域を補完するため「西部路線」と「東部路線」の2路線を運行している。

町民バス利用状況

路線	年 度	延べ利用者数(人)	延べ運行日数(日)	収入金額(円)	1日平均利用者数(人)
西部全16便	23年度	61,096	363	5,420,591	168.3
	24年度	65,438	362	5,689,624	180.8
	25年度	67,785	362	5,989,411	187.3
	26年度	67,870	362	5,950,427	187.5
	27年度	70,375	363	6,090,222	193.9
東部全13便	23年度	11,642	363	957,631	32.1
	24年度	9,468	362	828,720	26.2
	25年度	8,969	362	774,598	24.8
	26年度	11,334	362	876,568	31.3
	27年度	13,387	363	1,014,180	36.9

※運行経費はバス2台で年間3,000万円です。※料金定額制（100円）

- ・ミヤコーバスは、主に利府駅と住宅団地間を運行しており、4路線8系統ある。

路線バスへの補助状況

※（単位：円）

路線名 年度	利府線 (塩釜～しらかし台)	利府青山線 (青山花園、青葉台、菅谷台)	菅谷青葉台線 (菅谷台、青葉台)	葉山赤沼線	合計
23年度	—	737,000	6,684,000		7,421,000
24年度	—	615,000	7,346,000	28,483,000	36,444,000
25年度	—	363,000	6,416,000	23,823,000	30,602,000
26年度	—	2,609,000	3,610,000	24,643,000	30,862,000
27年度	495,000	—	4,862,000	21,339,000	26,696,000

「課題」

- (1) 現状の交通体系で、利用者の利便性は確保されているのか。
- (2) これからの高齢化社会に対応できるのか。
- (3) 公共交通への町の経費負担は効率的であるか。

視察地 宮城県大河原町

1 視察年月日 平成28年5月31日

2 視察目的

デマンド交通について

3 視察地の概況（平成28年4月30日現在）

(1) 人口 23,692人

(2) 世帯数 9,441世帯

(3) 面積 24.99km²

(4) 財政規模 7,813,994千円（平成28年度一般会計予算）

(5) 位置と地勢

宮城県南部のほぼ中央に位置し、24.99km²の面積に約23,700人が住むコンパクトな町である。

JR東北本線と国道4号線が縦断しており、南北への他市町へのアクセスは便利であるが、近年、商業施設や病院などが町の西側に集中するようになり、駅前や市街地の生活インフラが減少傾向にある。

4 取り組み状況

(1) 運行状況について

- ・平成24年7月より、デマンド型乗り合いタクシー「さくらっき一号」を商工会に委託し、運行
- ・運行車両 ハイエース2台、普通車2台、日産ENV1台 計5台
- ・運行時間 8時30分～16時30分まで30分1便、計17便
- ・休業日 土、日、祝祭日、年末年始（12月29日～1月3日）

(2) 料金について

- ・大人 300円
- ・小、中学生・障がい者 100円
- ・未就学児 無料

(3) 利用方法について

- ・事前登録が必要 利用登録票を※予約センターに提出し、利用等登録者カードが返送されてから利用できる（1週間程度かかる）
※予約センターの他、役場、公民館などの町の施設でも受付
- ・予約受付 電話予約（1週間前から運行時刻の30分前まで）

(4) 利用者について

- ・27年度の利用者数は、16,966人であり、1日あたり平均70人が利用している
- ・年齢別では、70歳以上が全体の約7割以上を占めており、中でも80歳以上の利用者が約4割と多い（※高齢化率25.5%）
- ・利用者の8割は女性である
- ・利用登録者数 3,384人（平成26年現在）
- ・人口比 14.3%

5 考 察

27年度の運行経費は約2,530万円で、町の補助額がその中で、約2,160万円である。一人あたりの補助額は1,273円となる。

運行経費の中で、車両借上げにかかる経費は約1,670万円で、残りの860万円は、予約、配車にかかる費用である。

これら以外に予約受付・配車システム賃借料が別途119万円かかっている。

平均乗車数が1.5人程度であるならば、登録者に大河原町内に限り、タクシー料金半額補助のような取り組みも検討の余地があるかもしれない。

視察地 茨城県石岡市

1 視察年月日 平成28年8月2日

2 視察目的

デマンド交通について

3 視察地の概況（平成28年7月1日現在）

(1) 人口 77,203人

(2) 世帯数 30,495世帯

(3) 面積 215.53km²

(4) 財政規模 30,900,000千円（平成28年度一般会計当初予算）

(5) 位置と地勢

石岡市は、茨城県のほぼ中央に位置し、市の大半は、関東平野特有の平坦な地形で、西部から市街地に向け、なだらかな丘陵地が広がっている。市内を国道6号線、常磐高速道路ほかJR常磐線が縦断することから交通の要衝地として知られている。

4 取り組み状況

(1) 運行状況について

- ・平成19年に石岡市巡回バスを廃止し、デマンドタクシー「乗合タウンメイト」を運行
- ・平成24年に事業主体を「まち未来いしおか」から社会福祉協議会に移行し、平成27年に運行エリアを市内全域に統合した
- ・運行車両 ハイエース9台
- ・運行時間 8時～17時、1時間に1便、計10便
- ・休業日 土、日、祝日、及び年末年始

(2) 料金について

利用料金は、石岡市の面積が広いとため、2つの運行区域に分けそれぞれの区域内であれば、1乗車300円であるが、2つの区域をまたぐ場合500円となる。

(3) 利用方法について

- ・事前登録が必要 利用登録票に記入後、郵送かFAXで申し込み
- ・予約受付 電話予約 (利用日の5日前から運行時刻の30分前まで)

(4) 利用者について

- ・27年度の利用者数は、41,838人となっており、1日あたり平均176名が利用している
- ・年齢別では、約7割が65歳以上の高齢者 (※高齢化率29.42%)
- ・利用者の8割以上が女性である
- ・利用登録者数 10,139人 (平成28年8月1日現在)
- ・人口比 13.1%

5 考 察

26年度の運行経費は約6,560万円で、市の補助額が約5,570万円、一人あたりの補助額は、1,286円である。また、運行経費中の予約システムに2,000万円を要しており、改善の余地がある。

使用車両は10人、15人乗りのハイエースであるが、27年度の1日あたりの利用者数は172人であり、時間帯によっては小型車でも対応できると思われる。

視察地 栃木県芳賀町

1 視察年月日 平成28年8月3日

2 視察目的

デマンド交通について

3 視察地の概況（平成28年7月31日現在）

(1) 人口 15,885人

(2) 世帯数 5,381世帯

(3) 面積 70.16km²

(4) 財政規模 7,707,000千円（平成28年度一般会計当初予算）

(5) 位置と地勢

芳賀町は、栃木県の南東部に位置する町で、東は市貝町、西は宇都宮市、南は真岡市、北は高根沢町に接している。県内で代表的な米どころとしての水田地帯があり、果樹や野菜類など都市近郊型農業が盛んである。

町には2つの工業団地があり、約100社の立地が進み農・工・商ともに発展している。

4 取り組み状況

(1) 運行状況について

- ・平成17年よりデマンド交通・ふれあいタクシー「ひばり」を運行
- ・平成25年に事業主体を商工会から芳賀町に移行し、直接関与している
- ・運行車両 ハイエース2台、セダン型1台、計3台
- ・運行時間 8時～16時、1時間に1便、計8便
- ・休業日 日曜、年末年始（12月29日～1月4日）

(2) 料金について

- ・中学生以上200円（平成28年4月に300円から値下げ）
- ・小学生以下100円
- ・未就学児は保護者1名乗車につき1名無料

(3) 利用方法について

- ・事前登録が必要 利用登録票を予約センターに提出 (当日可)
- ・予約受付 電話予約 (運行時刻の30分前まで)

(4) 利用者について

- ・27年度利用者数は、24,553人(小学生含む)であり、1日あたり102人が利用している
- ・年齢別では、70歳以上が全体の約8割を占めており、中でも80歳以上の利用者が約5割と多い(※高齢化率28.3%)
- ・利用者の8割は女性である
- ・利用登録者数 6,530人(平成27年現在)
- ・人口比 41.1%

5 考 察

運行経費は、年間約2,500万円、運賃収入が600万円あるので、町の経費は1,900万円となり、1人あたりの補助額は780円となる。

データ管理を徹底し、経費も良く抑えており、他自治体で問題だと思われる予約システムも、年間50万円程度。また、単に移動手段としてのデマンド交通ではなく、「高齢者の見守りも兼ねている」との説明が、参考になった。

総務財務常任委員会中間報告

三市町を視察したが、それぞれの置かれた地理的条件と公共交通サービスの現状を踏まえながら、利用者ニーズを把握し事業を実施していた。運営方法、費用についての考え方は様々であった。運行経費の中で、特に、予約・配車システムにかかる費用が大河原町で38%、石岡町で30%と予想外に大きな割合を占めていた。利用者については、どの市町でもほとんどが高齢者であり、8割が女性だった。また、平均乗車数は1・5人から2人程度であり、少人数であった。

各市町とも、公共交通空白地域の解消や、交通弱者をなくすために努力しながら地域の特性を生かし運営している様子がわかった。また、導入経緯は、高齢者の交通手段の確保であり、本町と状況が類似し、非常に参考になった。公共交通の利便性向上に繋がっており、本町としても必要だと感じた。

導入するには、利用者ニーズや、配車システム、車両等、町の現状を踏まえ、形態、運営手法等、相当な検討が必要と思われた。今後も継続調査していきたい。